



ホーム

教育目標

学校沿革

校歌

施設・アクセス

各種たより

押小日記



## さくら市立押上小学校

Sakura City Oshiage Elementary School

豊かな心と主体的に学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童を育てる。



## 5/17(火) 5年 22名が「田植え体験学習」 総合的な学習の時間「土屋どろんこ道場」

5月17日(火)、5年生22名が「総合的な学習の時間」の一環で「田植え体験」をしました。水田の準備から当日の説明や実技指導など、外部講師として「農業生産法人『匠屋』株式会社」の土屋恭則さんから4人にご協力いただきました。

まずは土屋さんから田植えのお話を聞きます。そしてもち米である「きぬはなもち」の苗を手植え体験しました。児童はうれしそうに裸足で田んぼに入り、上手に苗を植えていきました。

講師の土屋さんからは、「みなさんが食べているお米も、こうして大切に育てています。そして秋に収穫し、美味しくいただいているのです。ですから、できるだけ残さずに大事に食べましょう。」と、本校でも取り組んでいるSDGsにつながるお話がありました。

田んぼに入った子どもたちからは、「足が抜けない」や「動きが取れない」などの声が聞こえてきました。いつもと違う感覚を足、そして全身で体感していたようです。また、田んぼから出た後は「ぬるっとした。気持ちいい。」や「用水路の水は冷たいけど、田んぼの中は冷たくなかった。」など、水田の感触を表現していました。

続いては、田植え機によるデモンストレーションの見学です。機械化による作業効率の向上が進んでいることを実感します。「速い! あっという間…」手植え体験したからこそ感じる表現です。

5年生は、この体験で感じた疑問点などをもとに課題を設定し、その課題解決のために探究的な学習を進めてまいります。

秋の収穫が楽しみです。土屋さん、ありがとうございました。



## 5/11(水)あいさつ運動「青少年センター『わわわ隊』」



さくら市青少年センター「わわわ隊」は、日頃からさくら市の青少年の健全育成を願う様々な活動をしてきています。5月11日(水)の朝は、その「わわわ隊」のみなさんが、本校昇降口の前であいさつをして児童を迎えてくれました。「3つの『あ』…あんぜん・あいさつ・あとしまつ」の真ん中にある

「あいさつ」です。1年生も大きな声で、元気よく、しかも笑顔であいさつをしています。

この日は、登校後の6年生児童も加わり、一緒にあいさつ運動を行う姿が見られました。さすが6年生です。お手本となるような大きな声で、元気よく、しかも笑顔であいさつをしていました。「わわわ隊」のみなさん、ありがとうございました。



## 「進化・成長」5年 臨海自然教室で学んだ2日間



5年生が、5月10日(火)と11日(水)の1泊2日の日程で、茨城県銚田市にある「とちぎ海浜自然の家」で臨海自然教室(宿泊学習)を行いました。子どもたちは、班のメンバーと協力し、助け合って、「砂浜活動」「砂の造形」「貝の根付け」「塩づくり」などの活動を行ってきました。またクラスの仲間との初めての宿泊体験など、普段の学校生活ではなかなかできない活動等をとおして、友だちのよさを再発見するとともに、自分自身のよさや今後の課題を見つける機会となりました。

今後はこの臨海自然教室で学んだことを生かし、高学年として学校の様々な場面でリーダーシップを発揮してくれるものと思います。期待しています。

## 読み聞かせ「アリスの会」

5月19日(木)、子どもたちがとても楽しみにしている「アリスの会」のみなさんによる「読み聞かせ」がありました。みんな、本の世界に引き込まれるようにして聞いていました。「みんな、本…大好き！」

いつも本当にありがとうございます。(\*▽\*)

